

旅行BUB

市民と来訪者の双方のウェルビーイングを実現するため
センシング技術をもって新しい健康保養地を創造する



株式会社JTB・株式会社JTB総合研究所（主幹企業）

■ 概要 旅行・観光業界は世界的な潮流で着地型観光、ニューツーリズムの流れが拡大してきている。これは従来の発地型の観光ではなく、観光地側が主体となる目的型観光を意味し、着地側たる観光地側に仕組みを組み込んでいく必要がある時代となっている。旅行BUBはこうした新しい流れに対して、センサーを組み込んだ新たな健康保養地を創造していくという観点で取組みを推進している。また、観光地側に組み込んでいくということは着地のインフラづくりにも資する。この点、市民向けをも意識した双方の展開を想定している。

■ 社会実装に向けた企業戦略および成果等

熊本県荒尾市ウェルネス拠点 スマートシティ重点化促進プロジェクトにて実装へ

※構成企業：荒尾市、株式会社JTB総合研究所、株式会社グローバルエンジニアリング、三井物産株式会社、有明エナジー株式会社、独立行政法人都市再生機構

- ◆ ウェルネスの先にあるウェルビーイング（幸福・幸せ）の追求をコンセプトに、34.5ヘクタールの新たな街にCOI東北の技術を導入。東京大学大学院情報理工学系研究科とも連携。
- ◆ 単体のセンシング技術だけでなく、体系的な技術の社会実装を目指す。
- ◆ センシング技術をもって新たな健康保養地を創造する。



設置するセンサーから得たデータにより、個々人が健康への気づきや行動最適化アドバイスがさりげなくもらえる新しい保養地づくりを目指す



スマート檜風呂腰掛（イメージ）



血流動態センシング（イメージ）



魔法のプロジェクション（イメージ）

COI東北拠点

さりげないセンシングと日常人間ドックで実現する自助と共助の社会創生拠点